

校長スケッチ

令和5年1月27日 井原中学校の取組

学校づくり・地域づくりに関わる全ての皆さんへの情報紙
子どもたちの「生きる力」を育むために

これまでの情報紙はこちら Facebook 始めました

第29号

令和4年12月 岡山教育事務所

中学校必見!! キャリア教育でつながる地域との連携

地域を学習のフィールドとし、充実した体験学習を行っている取組を紹介します。「地域に開かれた教育課程」の実現に向けて、地域と学校が連携して、様々な実践が行われています。

この2つの取組に共通するのは、①学校以外の大人を巻き込んでいる点 ②交流・対話の場を設定している点 ③活動を通して、生徒に身につけさせたい力を共有している点 です。中学生が地域に出かけていたり、地域の方に学校に来てもらったりすることで、今まで以上に新たな学びの場 が生まれています。

「企業に対して企画プレゼン 企業が課題を提示」井原中【2年】

【企業からの課題内容】(一部)

- 井原市に観光客を増やすツアーを考えてください。
- 地元の特産品を使ったレシピを考えてください。
- 制服製作時に出る端材を有効利用する方法を考えてください。

あなたは、ゴミ出しのルールを伝えるために①ポスター②ニュース③インスタ、どのツールを活用しますか。理由も聞かせてください。

生徒は、**根拠を示しながら**、提案していきま。そして、企業からの質問を通して、さらに**いろいろな角度から考える視点**を手に入れられました。詳しくはこちらを↑

Instagramが いいと思います。理由は・・・

なるほど、若者に伝えるなら効果がありそうですね。若者以外にはどうかな？

ゴールが明確、関係者との情報共有もバッチリ!!
最終的にめざす生徒像が明確であり、今回の活動を通して、生徒にどのような力をつけさせたいかもはっきりしています。また、それを関係する企業や保護者と共有しながら、計画的に取組を進めています。

どちらの取組も「地域と共にある学校づくり」「学校を核にした地域づくり」を併せて実現させていく好事例です。地域の力によって、学校の教育活動の質はどんどん高まります。同時に、取組を通して、地域のつながりも広がり強くなりしていきます。地域と学校が協力して、生徒を育てていくことでお互いにWin&Winの関係が築けます。

本校の取組が県教委を通じて全県に紹介されています。

昨年12月に、2年生の「ワーク&ライフ職場体験活動」がキャリア教育の好事例として、今年1月には、タブレット端末の有効活用例（家庭学習と授業の連動）が取り上げられました。

これからも充実した学習活動ができるよう教職員全員で取り組んでいきたいと思ひます。

学力向上担当者通信 NO.16 岡山県教育庁義務教育課 令和5年1月19日

家庭学習の充実を一步先へ!!

～井原市立井原中学校の取組～

家庭学習の充実に向けて、各学校で様々な取組が行われています。今号では、**1人1台端末を活用しながら、組織的に家庭学習と授業の連動**を目指し、一步先の取組を進めている井原市立井原中学校の実践を紹介します。

井原中学校における1人1台端末の授業活用STEP目標

Step.1 とにかく使ってみる(授業の一部を代替)
・小テスト、課題の配信
・教材提示、授業記録 など

Step.2 対話的な学び協働的な学び
・協働で意見整理
・相互評価 など

Step.3 協働的な学び個別最適化された学び
・個に応じた学び
・動画を使った反転授業 など

Step.4 空間を超えた学び
・協働編集による家庭学習
・学校の壁を越えた学習 など

4段階のSTEPを設定し、全ての教員がICT機器を活用した授業づくりに取り組み、全ての教科で生徒がICT機器の活用を選択できることを目指しています。

数学科の取組例：Step.4 空間を超えた学び～協働編集による家庭学習～

宿題：瀬川先生が作る小テストを攻略するための、**テスト対策参考スライド**を4人で分担して作りましょう。
(条件：スライド2枚以内。分かりやすく。班で分担する。範囲は「一次関数と式とグラフの変化」)

①オンラインで授業の振り返りを共有し、ポイントを確認する。

一次関数のグラフは、切片を通る直線です。式は、 $y=ax+b$ です。

私は気付かなかったけど、〇〇さんの内容は参考になるな…

4人が共通して書いている内容は、特に大切なようだ…

・二元一次方程式とは、二つの文字がある方程式。
・間違いを減らす方法は…

②協働編集を行う。 ※ 下図は、生徒が作成したスライドのイメージ。

○テストに向けて「一次関数の範囲で、重要な語句をまとめよう」(NO.1)

式 $y=ax+b$
ex. $y=4x+2$ $y=3$ $y=3x-7$

2x+6=yのときは、等式の変形を使って、 $y=ax+b$ の形に直して計算する。

③授業で小テストを行う。

スライドにまとめた内容が出題されている!

前回よりも上手く大切なポイントをまとめていたね。

頑張ってたかった!

数学科の瀬川教諭と研究主任の齋藤指導教諭にインタビューをしました!

Q.1 家庭学習の充実に向けて、どのようなことを意識していますか?
生徒が「やって楽しい!」と感じて、モチベーション(内的動機付け)が上がるような課題を出すように心掛けています。具体的には、協働編集の他に解説動画を作成する家庭学習も行いました。点検時には、意識的に生徒の**頑張りや工夫を認めて励ます**ようにしています。

Q.2 協働編集や解説動画の作成を通して、生徒はどのように成長しましたか?
数学に苦手意識があった生徒が、友だちと協力して家庭学習を行うようになりました。また、数学の問題が「ただ解ける」だけでなく、「**解き方を説明できる**」生徒が増えたと感じています。

Q.3 組織的な取組とするために、どのような工夫をしましたか?
今年度、外部講師を招いて「1人1台端末の効果的な活用」「反転学習のよさ」などについて、校内研修を実施しました。何のために家庭学習と授業を連動させるかという**目的を共通理解**することを大切にしました。

Q.4 組織的な取組を行って、良かったことはありますか?
教員間で「どんな家庭学習がいいかな?」と相談したり、若手の先生が先輩教員の取組を参考にしたりする姿が見られるようになりました。教員が「わくわく感」をもって、楽しい家庭学習を考えています。